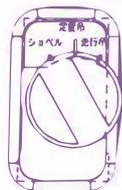


ハイリーチクレーンの作業上の注意事項

クレーン・ショベル切換えスイッチの選択は適切に

- クレーン作業またはショベル作業を行う場合、クレーン・ショベル切換えスイッチの選択を正しく切換えて作業を行ってください。
 - ・切換えスイッチの位置は機種によって異なりますので、詳細は取扱説明書にて確認ください。
 - ・切換えスイッチは2種類のタイプがあります。

A. 走行吊が設定されている機種



定置吊・走行吊作業の場合は、マルチディスプレイに「C」モードで表示されます。

- 定置吊作業……定置吊側
- 走行吊作業……走行吊側
- ショベル作業……ショベル側

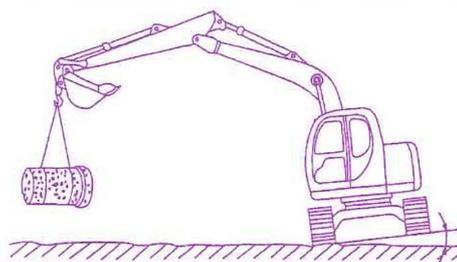
B. 走行吊が設定されていない機種



- クレーン作業……クレーン側「ON」
- ショベル作業……ショベル側「ON」

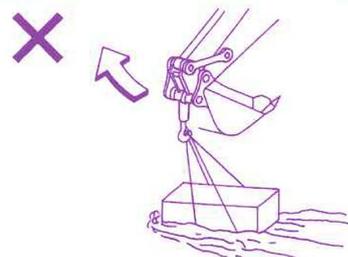
●定格荷重を超えてのクレーン作業は禁止 ●引抜き作業は禁止

- 定格荷重を超えてのクレーン作業は絶対に行わないでください。
- 土止め用部材の引抜き等、土木作業に類する作業はフックにかかる荷重強度を超えるため絶対に行わないでください。



横引き、斜引き等の禁止

- 横引き、斜引き作業は機械（フック）の破損原因となりますので、絶対に行わないでください。



運転資格・定期点検／検査について

1. 運転資格

- ・つり上げ荷重0.5t以上1t未満のハイリーチクレーンを運転する時は、移動式クレーン特別教育が必要です。
- ・つり上げ荷重1t以上3t未満のハイリーチクレーンを運転する時は、小型移動式クレーン運転技能講習修了証（又は移動式クレーン運転士免許）が必要です。

2. 定期点検／検査

- ・移動式クレーンとしての日常点検・月例定期自主検査・年次定期自主検査が必要です。

小型移動式クレーン運転技能講習の受講はコベルコ教習所の各センターにご用命ください

- 北海道教習センター 〒003-0026 北海道札幌市白石区本通21丁目南1-67 TEL011-862-3501
- 市川教習センター 〒272-0002 千葉県市川市二俣新町17 TEL047-327-2785
- 宇都宮教習センター 〒321-0166 栃木県宇都宮市今宮4丁目18番9号 TEL028-684-2111
- 新潟教習センター 〒950-3134 新潟県新潟市北区新崎256番地1 TEL025-259-3121
- 岐阜教習センター 〒503-0932 岐阜県大垣市本今町1720-5 TEL0584-87-2551
- 尼崎教習センター 〒660-0086 兵庫県尼崎市丸島町46番地1 TEL06-6413-3010
- 明石教習センター 〒674-0063 兵庫県明石市大久保町八木740 TEL078-935-3831
- 広島教習センター 〒731-3167 広島県広島市安佐南区大塚西1丁目5番36号 TEL082-848-0088
- 松山教習センター 〒791-2111 愛媛県伊予郡砥部町八倉44-1 TEL089-905-1800
- 北九州教習センター 〒803-0801 福岡県北九州市小倉北区西港町88番11 TEL093-571-1489
- 熊本教習センター 〒869-1235 熊本県菊池郡大津町室北出口1390番1 TEL096-340-3705

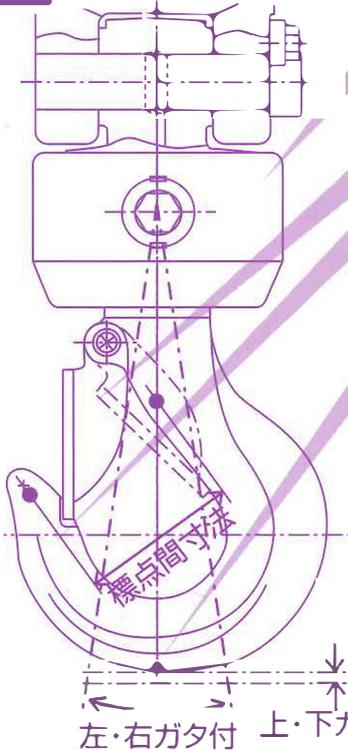
オペレータの皆様へ

この度は、ハイリーチクレーンを御使用いただき誠に有難うございます。
 運転の前にこのシートをよく読み、作業開始前点検の励行とハイリーチクレーンの正しい使用により、安全作業を行ってください。

ハイリーチクレーン作業開始前点検について

本シートは安全作業上非常に重要なフック部の点検を抜粋しています。フック以外の点検箇所につきましては取扱説明書の記載項目に基づいた点検作業の実施をお願いいたします。

！ フックの点検・給脂は作業開始前に必ず実施してください。



- 1 グリスガンにてグリスを給脂してください。
 ●次にフックを手で回し、両方向にスムーズに回転することを確認してください。
- 2 ワイヤ外れ止めの作動状況と損傷を点検してください。
- 3 フック曲がり変形の有無を点検してください。
 ●新型フックには、標点を示すポンチ穴があります。
 (M、L型) 標準寸法:65mm 廃棄寸法:68.3mm
 (S型) 標準寸法:52mm 廃棄寸法:54.6mm
- 4 フックのガタ付を点検してください。
 ●ガタ付の測定はフック底部(図の▲部)で行ってください。
 ●上記ガタ付の整備基準は機種により異なります。
 下記表を参照してください。

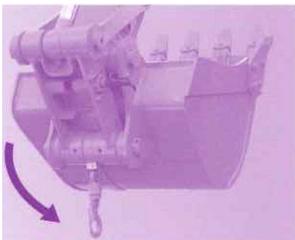
フック種類	整備基準(新型)		対 象 機 種
	左右ガタ	上下ガタ	
L型	10mm	4mm	SK115SR, SK125SR, SK135SR, SK130SR+, SK130UR, SK200SR, SK225SR, SK235SR, SK200, SK230, SK250, SK125W
M型	8mm	3mm	SK70SR, SK75UR
S型	6mm	3mm	SK30SR, SK30SRST, SK35SR, SK40SR, SK50SR, SK55SR, SK30UR, SK38UR, SK50UR

(新型は、ハウジング部にプラグとグリスニップルが装着されています。)

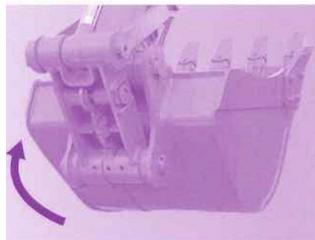
左・右ガタ付 上・下ガタ付 ●上記基準を超える場合は下記サービス窓口宛点検・整備をご用命ください。

フックの取扱い注意

クレーン作業時



フック格納時



- フックの損傷を防止する目的からショベル作業時及び輸送時などクレーン作業時以外は必ずフックをバケットリンク内に格納し固定してください。
- 吊り具をぶつかけたり、衝撃を与えないでください。

始業点検で万一異常を発見した時はクレーン作業を中止してください